

Japan Privacy Symposium

第1回日本プライバシーシンポジウム

グローバル規制の主要なトレンドに関する日本のデータ保護・個人情報保護

日時：2023年6月22日（木）9:00 - 12:00（開場：8:30）

主催：[Future of Privacy Forum](#)、[S&K Brussels 法律事務所](#)

場所：[〒106-0032 東京都港区六本木 1-5-2 泉ガーデンギャラリーB1 ホール](#)

参加費：無料（先着順）

言語：英語（英日・日英の同時通訳が提供されます。）

申込ページ：[URL](#) ●

アジェンダ

G7 のデータ保護プライバシー規制監督当局が東京に集まり、データによる新技術の進展と社会、人々及び経済への影響によって引き起こされる課題に取り組むための協調的アプローチについて戦略を練っています。本シンポジウムは、G7 のデータ保護監督当局と日本のデータ保護プライバシーコミュニティが意見交換し、グローバルな規制の現状を共有し、将来に向けての戦略を練る場となります。AI のガバナンスとそれにおけるデータ保護の役割、広告技術の未来、執行動向、グローバルなデータの流れなど、世界のデータ保護・個人情報保護における重要なテーマが議論されます。皆様奮って御参加下さい。

プログラムおよびパネルの説明

8:30 - 9:00 ウェルカムコーヒー・参加登録

9:00 - 9:05 歓迎の辞

- [ジュールズ・ポロネツキー \(Jules Polonetsky\)](#) 氏（フューチャー・オブ・プライバシー・フォーラム最高経営責任者 (Chief Executive Officer, Future of Privacy Forum (FPF))
- [杉本武重 \(Takeshige Sugimoto\)](#) 氏（S&K Brussels 法律事務所代表パートナー弁護士、フューチャー・オブ・プライバシー・フォーラム (FPF) シニアフェロー (Managing Director & Partner, S&K Brussels LPC / Senior Fellow, Future of Privacy Forum))

9:05 - 9:20 基調講演

- [丹野美絵子 \(Mieko Tanno\)](#) 氏（個人情報保護委員会委員長 (Chairperson, Personal Information Protection Commission, Japan))

9:20 - 10:20

既存のデータ保護法・個人情報保護法と特化した新法の間で：AI ガバナンスを理解する

データ保護法・個人情報保護法は、新しいAI ツール、特に生成AI の大量導入がもたらすリスクに対処するための最も適切な既存の法的枠組みの1つであることが証明されました。同時に、EU からカナダ、そしてそれ以外の国の立法者によって、新しいAI ガバナンスモデルが進められています。AI システムのプロバイダが、消費者や事業者ユーザに向けてツールを展開する際に考慮しなければならない重要な既存の規定とは何でしょうか？企業や政府機関は、サードパーティの開発者が提供することが多い新しいAI ツールを組み込んだサービスの展開について、どのように考えるべきでしょうか。この領域における新たな規制の付加価値とは何でしょうか？

● モデレータ

- ガブリエラ・ザンフィル＝フォルトウナ (Gabriela Zanfir-Fortuna) 氏 (FPF グローバルプライバシー部門担当副社長 (Vice President for Global Privacy, Future of Privacy Forum))

● 登壇者 (スピーカー)

- ヴォイチェフ・ヴィエヴィオロフスキー (Wojciech Wiewiórowski) 氏 (欧州データ保護監察官 (EDPS: European Data Protection Supervisor))
- ジネーヴラ・チェリーナ・フェローニ (Ginevra Cerina Ferroni) 氏 (イタリアデータ保護監督当局副委員長 (Vice Presidente del Garante per la protezione dei dati personali))
- フィリップ・デュフレヌ (Philippe Dufresne) 氏 (カナダデータ保護監督当局プライバシーコミッショナー (The Privacy Commissioner of Canada))

10:20 - 10:50

コーヒーブレイクとネットワーキング

10:50 - 11:50

世界におけるエンフォースメントの優先順位：子どものプライバシーから広告技術まで

子どものプライバシーから自動的意思決定まで、オンラインターゲット広告やクッキーウォールから健康上のプライバシー侵害まで、データ保護とプライバシー委員会の執行優先順位は年々拡大しています。また、その執行手段も、金銭的な罰則を課すだけでなく、より多くの手段を講じるようになっていきます。このパネルディスカッションでは、規制当局の現在の執行優先順位、執行措置への斬新なアプローチ、国境を越えた協力の可能性、予防措置と懲罰措置の利点と欠点に注目しながら、どのようなものがあるのかを議論します。

● モデレータ

- ジュールズ・ポロネツキー (Jules Polonetsky) 氏 (フューチャー・オブ・プライバシー・フォーラム最高経営責任者(Chief Executive Officer, Future of Privacy Forum (FPF)))

● 登壇者 (スピーカー)

- レベッカ・ケリー・スローター (Rebecca Kelly Slaughter) 氏 (米国連邦取引委員会委員 (Commissioner, Federal Trade Commission, United States of America))
- ジョン・エドワーズ (John Edwards) 氏 (英国情報コミッショナーオフィス (UK Information Commissioner, Information Commissioner' s Office, United Kingdom))
- 丹野美絵子 (Mieko Tanno) 氏 (個人情報保護委員会委員長 (Chairperson, Personal Information Protection Commission, Japan))

11:55 – 12:00 閉会の辞

- ジュールズ・ポロネツキー (Jules Polonetsky) 氏 (フューチャー・オブ・プライバシー・フォーラム最高経営責任者(Chief Executive Officer, Future of Privacy Forum (FPF)))
- 杉本武重 (Takeshige Sugimoto) 氏 (S&K Brussels 法律事務所代表パートナー 弁護士、フューチャー・オブ・プライバシー・フォーラム (FPF) シニアフェロー (Managing Director & Partner, S&K Brussels LPC / Senior Fellow, Future of Privacy Forum))